

時 間 帯 別 C 契 約

(選 択 約 款)

平成 31 年 4 月 1 日実施

島原 G エナジー株式会社

目 次

1. 目的	1
2. この選択約款の変更	1
3. 用語の定義	1
4. 適用条件	2
5. 契約の締結	2
6. 使用量の算定	3
7. 供給の削減又は中止	3
8. 料金	4
9. 延滞利息	4
10. 単位料金の調整.....	5
11. 需給契約の精算額.....	6
12. 名義の変更.....	8
13. 契約の変更又は解約.....	8
14. 契約の変更又は解約に伴う契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額、 又は負荷調整時超過精算額の取扱い.....	9
15. 契約の解約に伴う契約中途解約精算額.....	9
16. 本支管工事費の精算.....	9
17. 緊急調整時の措置.....	10
18. その他	10
付則	11
1. 実施の期日	11
2. この選択約款の実施に伴う切り替え措置	11
(別 表)	12
1. 料金及び消費税等相当額の算定方法	12
2. 料金表（消費税等相当額を含みます）	14

1. 目的

この選択約款は、昼間時間から夜間時間への負荷移行及び最大需要期における尖頭時間帯の負荷抑制が可能な需要を中心に、お客さまの合理的利用を図るとともに、お客さまの需要場所を供給区域とする一般ガス導管事業者（以下「需要地一般ガス導管事業者」といいます。）の製造供給設備の効率的使用を通じ、当社の効率的な事業運営に資することを目的といたします。

2. この選択約款の変更

当社は、この選択約款を変更することがあります。この場合には、お客さまとのガス料金その他供給条件は、変更後の選択約款によります。

3. 用語の定義

この選択約款及び需給契約において使用する用語の定義は、次のとおりといたします。

- (1) 「契約1時間当たり最大使用量」とは、契約で定める1年間を通じて1時間当たりの最大の使用量をいいます（小数点以下切り捨て）。
- (2) 「契約月別使用量」とは、契約開始使用月から終了使用月までの契約で定める月別使用予定量をいいます。
- (3) 「契約年間使用量」とは、契約月別使用量の合計量をいいます。
- (4) 「契約年間引取量」とは、契約で定めるお客さまの1年間において引取らなければならない使用量をいいます。
- (5) 「最大需要期」とは、12月使用分（12月検針日の翌日から1月検針日まで）から3月使用分（3月検針日の翌日から4月検針日まで）までの4か月間をいいます。
- (6) 「契約年間負荷率」とは、次の算式により算定した割合をいい、パーセントで表示します（小数点以下切り捨て）。

$$\text{契約年間負荷率} = \frac{\text{年間の1か月当たり平均契約使用量}}{\text{最大需要期の1か月当たり平均契約使用量}} \times 100$$

- (7) 「尖頭負荷時間帯」とは午後5時から午後10時までをいいます。
- (8) 「契約尖頭負荷時間帯使用量」とは、最大需要期における契約で定める尖頭負荷時間帯の最大の使用量をいいます。
- (9) 「契約1日当たり最大使用量」とは、最大需要期における契約で定める1日当たりの最大の使用量をいいます。
- (10) 「昼間」とは、午前7時から午後10時までをいい、「夜間」とは、午後10時から午前7時までをいいます。
- (11) 「契約1日当たり昼間使用量」とは、最大需要期における契約で定める1日当たり昼間の最大の使用量をいいます。
- (12) 「契約1日当たり夜間使用量」とは、最大需要期における契約で定める1日当たり夜間の最大の使用量をいいます。

- (13) 「平日」とは、最大需要期における土曜日、日曜日、祝祭日及びその他のお客さまの休業日を除く日をいいます。
- (14) 「契約 1 日当たり昼間最大調整量」とは、契約 1 日当たり昼間使用量を基準として平日において負荷調整を行いうる 1 日当たり昼間の最大量をいいます。
- (15) 「契約 1 日当たり夜間最大調整量」とは、契約 1 日当たり夜間使用量を基準として平日において負荷調整を行いうる 1 日当たり夜間の最大量をいいます。
- (16) 「契約昼間基準量」とは、契約 1 日当たり昼間使用量から契約 1 日当たり昼間最大調整量を差引いた量をいいます。
- (17) 「契約夜間基準量」とは、契約 1 日当たり夜間使用量から契約 1 日当たり夜間最大調整量を差引いた量をいいます。
- (18) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1 円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (19) 「消費税率」とは、消費税法の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。
- (20) 「単位料金」とは、10 に定める基準単位料金又は調整単位料金をいいます。

4. 適用条件

お客さまは、次の全ての条件を満たす場合には、当社に対してこの選択約款による契約を申し込むことができます。

- (1) この選択約款による契約に基づくガスの供給が、一般需要に対するガスの供給に支障を及ぼすと認められる場合は、当社からの通告により供給の削減に応じられる需要であること。
- (2) 契約 1 時間当たり最大使用量が 122 立方メートル以上であること。
- (3) 契約年間使用量が、契約 1 時間当たり最大使用量の 1,800 倍（小数点以下切り捨て）以上であること。
- (4) 契約年間引取量が契約年間使用量の 70 パーセント以上であること。
- (5) 契約年間負荷率が 65 パーセント以上であること。
- (6) 契約尖頭負荷時間帯使用量が、契約 1 日当たり最大使用量の 20 パーセント未満であること。
- (7) 契約 1 日当たり昼間最大調整量が、契約 1 日当たり昼間使用量の 30 パーセント以上であること。
- (8) お客さまの用地境界線における供給圧力が中圧以上であること。

5. 契約の締結

- (1) お客さまは、この選択約款に基づき当社と協議のうえ、適用する料金その他の供給条件を定めた需給契約を当社と締結していただきます。
- (2) お客さまは、新たにこの選択約款に基づきガスの使用を申し込む場合、又はその後の契約更新に際し契約内容を変更しようとする場合には、当社に対し年間のガスの使用計画を提示するものとし、当社はその使用計画に基づきお客さまの過去の実績、同一業種の操業度

及び使用設備の内容等を参考にして、お客さまとの協議によって次の契約量を定めるもの
といたします。

- ① 契約 1 時間当たり最大使用量
 - ② 契約 1 日当たり最大使用量
 - ③ 契約 1 日当たり昼間使用量
 - ④ 契約 1 日当たり昼間最大調整量
 - ⑤ 契約尖頭負荷時間帯使用量
 - ⑥ 契約 1 日当たり夜間使用量
 - ⑦ 契約 1 日当たり夜間最大調整量
 - ⑧ 契約年間使用量
 - ⑨ 契約年間引取量
 - ⑩ 契約月別使用量
- (3) 契約期間は原則として 1 年間とし、別途需給契約書に定めます。ただし、契約期間満了時
において当社とお客さまの双方が契約内容について異議のない場合には、契約はさらに 1
年間延長するものとし、以後これにならうものといたします。
- (4) 当社は、お客さまが当社とその他の契約（すでに消滅しているものを含みます。）の料金を、
それぞれの約款に規定する支払期限日を経過しても支払われていない場合は、申し込みを
承諾できないことがあります。

6. 使用量の算定

- (1) 当社は、前回の検針日及び今回の検針日におけるガスメーターの読みにより、その料金算
定期間の使用量を算定いたします。
- (2) 最大使用量、昼間使用量及び夜間使用量は、原則として負荷計測器により算定いたします。
（負荷計測器本体は当社負担とし、取付関係工事費はお客さま負担とします。）
ただし、負荷計測器の故障等の場合には、当社とお客さまの協議によってその月における
最大使用量、昼間使用量及び夜間使用量を算定いたします。

7. 供給の削減又は中止

- (1) 当社はお客さまに対し、最大需要期において少なくとも 1 回以上供給の削減を行うことが
できるものといたします。
- (2) (1)の場合当社は、お客さまの契約 1 日当たり昼間最大調整量及び契約 1 日当たり夜間最
大調整量の範囲内で削減することとし、それによる使用可能量を時間帯別に決定して、お
客さまに電話で通告いたします。
- (3) お客さまは、当社から通告を受けた後 6 時間を経過してからガスの使用を削減していただ
きます。
- (4) 不測の需給逼迫等の緊急時において当社が必要と認めた場合には、契約 1 日当たり昼間最
大調整量及び契約 1 日当たり夜間最大調整量にかかわらず、一般の需要に先立って緊急調
整（供給の制限又は中止）に応じていただきます。

8. 料金

- (1) 当社は、別表の料金表を適用して料金を算定いたします。
- (2) 当社は、料金について、その計算の結果、1 円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てます。
- (3) 料金は、ガス小売供給約款に規定する支払義務発生日の翌日から起算して 50 日以内に支払っていただきます。
なお、支払義務発生日の翌日から起算して 50 日目（以下「支払期限日」といいます。）が休日の場合には、その直後の休日でない日を支払期限日といたします。
- (4) お客さまの都合や契約違反によりこの契約を契約期間中に解約した場合、又はガスの使用を一時停止した場合には、その月の基本料金は(1)に基づく 1 か月当たりの基本料金全額とし、従量料金は別表に基づいて算定いたします。

9. 延滞利息

- (1) お客さまが支払期限日を経過してもなお料金を支払われない場合は、当社は、支払期限日の翌日から支払いの日までの期間に応じて延滞利息を申し受けます。ただし、次の各号に該当する場合には延滞利息は申し受けません。
 - ① 料金を口座振替により支払われる場合で、当社の都合により料金を支払期限日の翌日以降にお客さまの口座から引き落としした場合
 - ② 料金を支払期限日の翌日から起算して 10 日以内に支払われた場合
- (2) 延滞利息は、次の算式により算定して得た金額といたします。
なお、本体料金は、料金からその料金に含まれる消費税等相当額を除いたものといたします。
$$\text{算定の対象となる本体料金} \times \text{支払期限日の翌日から支払いの日までの日数} \times 0.0274 \text{ パーセント (1 円未満の端数切り捨て)}$$

(備 考)
消費税等相当額の算定方法は、別表 1(4)のとおりといたします。
- (3) 延滞利息は、原則として、お客さまが延滞利息の算定の対象となる料金を支払われた日以降に支払義務が発生する料金とあわせてお支払いいただきます。
- (4) 延滞利息の支払期限日は、(3)の規定に基づきあわせてお支払いいただく料金の支払期限日と同じとします。

10. 単位料金の調整

- (1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回り又は下回る場合は、次の算式により別表の料金表の基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して料金を算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表1(5)のとおりといたします。

- ① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 (1 立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} + 0.083 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times (1 + \text{消費税率})$$

- ② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 (1 立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} - 0.083 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備 考)

上記の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。

- (2) (1)の基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

- ① 基準平均原料価格 (トン当たり)

85,350 円

- ② 平均原料価格 (トン当たり)

別表1(5)に定められた各3か月間における貿易統計の数量及び価額から算定したトン当たりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)及びトン当たりLPG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)をもとに次の算式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。

(算 式)

平均原料価格

$$= \text{トン当たりLNG平均価格} \times 0.9423$$

$$+ \text{トン当たりLPG平均価格} \times 0.0620$$

- ③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

(算 式)

- イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格}$$

- ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格}$$

11. 需給契約の精算額

需給契約に関する精算額は、1 時間当たり最大使用量倍率未達精算額、年間負荷率未達精算額、契約年間引取量未達精算額、契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額及び負荷調整時超過精算額とし、当社は、当該精算額を原則として、それぞれの未達あるいは超過が発生した翌月に申し受けるものといたします。

ただし、次の(1)及び(2)が重複して生じた場合には、いずれか高いものを申し受けるものといたします。

なお、計算の結果、1 円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。

(1) 1 時間当たり最大使用量倍率未達精算額

お客さまの年間の実績使用量が、契約 1 時間当たり最大使用量の 1,800 倍（小数点以下切り捨て）未満の場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、1 時間当たり最大使用量倍率未達精算額といたします。

ただし、実績年間使用量が契約年間引取量未満の場合には、下記算式中の「実績年間使用量」を「契約年間引取量」と読み替えるものといたします。

$$\begin{array}{l} \text{1 時間 当 たり} \\ \text{最 大 使 用 量} \\ \text{倍 率 未 達} \\ \text{精 算 額} \end{array} = \left(\left(\begin{array}{l} \text{契約 1 時間 当 たり} \\ \text{最 大 使 用 量 の} \\ \text{1,800 倍 に 相 当} \\ \text{す る 年 間 使 用 量} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{実 績 年 間} \\ \text{使 用 量} \end{array} \right) \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{ガス 需 給 契 約 に 定 め る 契} \\ \text{約 月 別 使 用 量 に 各 月 の 単} \\ \text{位 料 金 を 乗 じ た も の の 合} \\ \text{計 額 を 契 約 年 間 使 用 量 で} \\ \text{除 し、小 数 点 第 3 位 以 下 を} \\ \text{四 捨 五 入 し た 額} \times 3 \end{array} \right)$$

なお、この未達精算額は、当該契約年度に支払われた基本料金及び従量料金の総額とこの未達精算額との合計額が、上記の実績年間使用量に一般ガス供給約款に定める料金表を適用して算定される料金総額の 103 パーセントに相当する額（小数点以下切り捨て）を超えない範囲で算定するものとします。

また、供給の削減時における実績使用量は、契約 1 日当たり最大使用量をもって算定いたします。

(2) 年間負荷率未達精算額

お客さまの実績年間負荷率〔(年間の 1 か月当たり平均実績使用量／最大需要期の 1 か月当たり平均実績使用量) × 100 をいいます（小数点以下切り捨て）。〕が 65 パーセント未満の場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、年間負荷率未達精算額といたします。

ただし、実績年間使用量が契約年間引取量未満の場合には、下記算式中の「実績年間使用量」を「契約年間引取量」と読み替えるものといたします。

$$\begin{array}{l} \text{年 間 負 荷 率} \\ \text{未 達 精 算 額} \end{array} = \left(\left(\begin{array}{l} \text{負 荷 率 65 パー} \\ \text{セ ン ト に 相 当} \\ \text{す る 年 間 使 用 量} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{実 績 年 間} \\ \text{使 用 量} \end{array} \right) \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{ガス 需 給 契 約 に 定 め る 契} \\ \text{約 月 別 使 用 量 に 各 月 の 単} \\ \text{位 料 金 を 乗 じ た も の の 合} \\ \text{計 額 を 契 約 年 間 使 用 量 で} \\ \text{除 し、小 数 点 第 3 位 以 下 を} \\ \text{四 捨 五 入 し た 額} \times 3 \end{array} \right)$$

なお、この未達精算額は、当該契約年度に支払われた基本料金及び従量料金の総額とこの未達精算額との合計額が、上記の実績年間使用量に一般ガス供給約款に定める料金表を適用して算定される料金総額の 103 パーセントに相当する額（小数点以下切り捨て）を超えない範囲で算定するものとします。

また、供給の削減時における実績使用量は、契約 1 日当たり最大使用量をもって算定いたします。

（備 考）

負荷率 65 パーセントに相当する年間使用量は、契約期間中における最大需要期の 1 か月当たり平均実績使用量に 0.65 を乗じ、その量を 12 倍した量といたします。

（３） 契約年間引取量未達精算額

当社は、お客さまの年間の実績使用量が契約年間引取量に満たない場合には、当社がやむをえないと判断した場合以外、次の算式によって算定する金額を限度とし、契約年間引取量未達精算額といたします。

$$\text{契約年間引取量未達精算額} = \left(\left[\text{契約年間引取量} \right] - \left[\text{実績年間使用量} \right] \right) \times \left(\text{ガス需給契約に定める契約月別使用量に各月の単位料金を乗じたものの合計額を契約年間使用量で除し、小数点第3位以下を四捨五入した額} \right)$$

ただし、供給の削減時における実績使用量は、契約 1 日当たり最大使用量をもって算定いたします。

（４） 契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額

最大需要期において最大の 1 時間当たりの使用量が契約 1 時間当たり最大使用量の 105 パーセントに相当する量（小数点以下切り上げ）を超えた場合には、次の算式によって算定する金額を限度とし、契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額といたします。

ただし、新たにこの選択約款に基づいて契約を更新し、その需給契約における契約 1 時間当たり最大使用量を、需給契約期間における最大の 1 時間当たりの使用量以上の値で定める場合は、この限りではありません。

$$\text{契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額} = \left(\left[\text{最大の 1 時間当たりの使用量} \right] - \left[\text{契約 1 時間当たり最大使用量} \times 1.05 \right] \right) \times \left(\text{流量基本料金相当単価} \times 1.1 \right) \times 12$$

なお、需給契約に定める契約有効期間中に契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額を申し受け、又は申し受けることが確定している場合には、上記算式によって確定する金額が、すでに申し受け、又は申し受けることが確定している金額を超えている場合に限り、その差額を契約 1 時間当たり最大使用量超過精算額といたします。

(5) 負荷調整時超過精算額

① 昼間負荷調整時超過精算額

昼間の時間帯において、7(1)から(3)による使用の削減を行った場合の使用量が当社から通告した使用可能量を超えた場合には次の算式によって算定する金額を昼間負荷調整時超過精算額といたします。

$$\text{昼間負荷調整時超過精算額} = \left(\left(\begin{array}{c} \text{通} \\ \text{時} \\ \text{使} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{告} \\ \text{間} \\ \text{用} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{し} \\ \text{た} \\ \text{の} \\ \text{量} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{c} \text{通} \\ \text{時} \\ \text{使} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{告} \\ \text{間} \\ \text{用} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{し} \\ \text{た} \\ \text{の} \\ \text{可} \\ \text{能} \\ \text{量} \end{array} \right) \right) \times \left(\begin{array}{c} \text{昼間基本料金} \\ \text{相当単価} \times 2 \end{array} \right) \times 12$$

② 夜間負荷調整時超過精算額

夜間の時間帯において、7(1)から(3)による使用の削減を行った場合の使用量が当社から通告した使用可能量を超えた場合には次の算式によって算定する金額を夜間負荷調整時超過精算額といたします。

$$\text{夜間負荷調整時超過精算額} = \left(\left(\begin{array}{c} \text{通} \\ \text{時} \\ \text{使} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{告} \\ \text{間} \\ \text{用} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{し} \\ \text{た} \\ \text{の} \\ \text{量} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{c} \text{通} \\ \text{時} \\ \text{使} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{告} \\ \text{間} \\ \text{用} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{し} \\ \text{た} \\ \text{の} \\ \text{可} \\ \text{能} \\ \text{量} \end{array} \right) \right) \times \left(\begin{array}{c} \text{夜間基本料金} \\ \text{相当単価} \times 2 \end{array} \right) \times 12$$

12. 名義の変更

お客さま又は当社が契約期間中に第三者と合併し、又はその事業の全部若しくはこの契約に関係ある部分を第三者に譲渡する場合には、お客さま又は当社はこの契約をその後継者に承継させ、かつ後継者の義務履行を相手方に保証するものといたします。

13. 契約の変更又は解約

- (1) お客さまのガス使用計画に変更がある場合、又は2によりこの選択約款が変更された場合は、契約期間中であっても、双方協議してこの契約を変更又は解約することができるものといたします。
- (2) 当社に契約違反があった場合、又はお客さまに契約違反があった場合(4の適用条件を満たさなくなった場合及び11の精算額の対象に繰り返し該当している場合を含みます。)には契約期間中であっても、相互に契約を解約できるものといたします。

14. 契約の変更又は解約に伴う契約1時間当たり最大使用量超過精算額、又は負荷調整時超過精算額の取扱い

契約期間中において契約の変更又は解約が生じた場合であって変更月又は解約月以前に契約1時間当たり最大使用量超過精算額又は負荷調整時超過精算額を申し受け、若しくは申し受けることが確定している場合には、各精算額算定式のうち「12」とあるのを「契約月から解約月までの月数」として各精算額を算定しなおして精算いたします。

なお、計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。

ただし、13(1)の規定による契約の変更又は解約であって当社がやむをえないと判断した場合以外、又は13(2)の規定による契約の解約であってお客さまの契約違反のみによる場合には、11(4)及び11(5)の算定結果といたします。

15. 契約の解約に伴う契約中途解約精算額

契約期間中において生じた契約の解約が、13(1)の規定によるものであって当社がやむをえないと判断した場合以外、若しくは13(2)の規定によるものであってお客さまの契約違反のみによる場合には、当社は、次のとおり契約中途解約精算額を申し受けます。

なお、計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。

- (1) 新たにこの選択約款に基づいて契約を締結しない場合には、当社は契約解約月に、次の算式によって算定される契約中途解約精算額を申し受けます。

$$\text{契約中途解約精算額} = \left(\begin{array}{l} \text{解約日の翌月から契約} \\ \text{終了月までの残存月数} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{基本料金} \\ \text{相当額} \end{array} \right)$$

- (2) 新たにこの選択約款に基づいて契約を締結する場合であって、契約の解約日の翌日から契約1時間当たり最大使用量、契約昼間基準量又は契約夜間基準量をそれまでの契約量から変更する場合には、当社は契約解約月に、次の算式によって算定される契約中途解約精算額を申し受けます。

$$\text{契約中途解約精算額} = \left(\left(\begin{array}{l} \text{前契約の1か月} \\ \text{当たりの基本料金} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{新契約の1か月} \\ \text{当たりの基本料金} \end{array} \right) \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{解約日の翌月から前契約終了月} \\ \text{までの残存月数} \end{array} \right)$$

16. 本支管工事費の精算

本支管工事を伴う新增設後1年未満の契約期間中において契約を解約するとともにガスの使用を廃止する場合には、当社は、原則としてその本支管の新增設工事にかかわる需要地一般ガス導管事業者負担額に消費税等相当額を加えたものを全額申し受けます。

17. 緊急調整時の措置

7(4)の緊急調整に応じていただいた場合には、別表の基本料金を次の算式によって割引いたします。ただし、(3)及び(4)は1日における調整量が契約1日当たり昼間最大調整量、及び契約1日当たり夜間最大調整量を超える量についてのみ適用いたします。

また、11の需給契約の精算額については、双方協議して算定するものといたします。

$$\begin{aligned} (1) \quad \text{定額基本料金割引額} &= \text{定額基本料金} \times \frac{\text{調整時間}}{\text{当該月の時間数}} \times \frac{\text{1時間当たりの平均調整量}}{\text{契約1時間当たり最大使用量}} \\ (2) \quad \text{流量基本料金割引額} &= \text{流量基本料金単価} \times \frac{\text{契約1時間当たり最大使用量}}{\text{使用量}} \times \frac{\text{調整時間}}{\text{当該月の時間数}} \times \frac{\text{1時間当たりの平均調整量}}{\text{契約1時間当たり最大使用量}} \\ (3) \quad \text{昼間基本料金割引額} &= \text{昼間基本料金単価} \times \frac{\text{契約昼間基準量}}{\text{基準量}} \times \frac{\text{調整時間}}{\text{当該月の時間数}} \times \frac{\text{1時間当たりの平均調整量}}{\text{契約昼間基準量}} \\ (4) \quad \text{夜間基本料金割引額} &= \text{夜間基本料金単価} \times \frac{\text{契約夜間基準量}}{\text{基準量}} \times \frac{\text{調整時間}}{\text{当該月の時間数}} \times \frac{\text{1時間当たりの平均調整量}}{\text{契約夜間基準量}} \end{aligned}$$

18. その他

その他の事項については、ガス小売供給約款を適用いたします。

付則

1. 実施の期日

この選択約款は、平成 31 年 4 月 1 日から実施いたします。

2. この選択約款の実施に伴う切り替え措置

当社は、平成 31 年 3 月 31 日まで西部ガス㈱と時間帯別 C 契約（以下「旧選択約款」といいます。）を締結していたお客さまで、平成 31 年 4 月 1 日以降、この選択約款（以下「本選択約款」といいます。）が適用されるお客さまについては、本選択約款においても、旧選択約款に係る契約期間を適用いたします。

(別 表)

1. 料金及び消費税等相当額の算定方法

- (1) 料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- (2) 基本料金は、基本料金(甲)と基本料金(乙)の合計といたします。
 - ① 基本料金(甲)は、定額基本料金と流量基本料金の合計といたします。流量基本料金は、流量基本料金単価に契約1時間当たり最大使用量を乗じた額といたします。
 - ② 基本料金(乙)は、昼間基本料金と夜間基本料金の合計といたします。昼間基本料金は、昼間基本料金単価に契約昼間基準量を乗じた額とし、夜間基本料金は、夜間基本料金単価に契約夜間基準量を乗じた額といたします。
- (3) 従量料金は、基準単位料金又は10の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- (4) 料金に含まれる消費税等相当額は次の算式により算定いたします。(小数点以下の端数切り捨て)

$$\text{料金に含まれる消費税等相当額} = \text{料金} \times \text{消費税率} \div (1 + \text{消費税率})$$

- (5) 調整単位料金の適用基準は次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日(うるう年は2月29日)に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

- ⑧ 料金算定期間の末日が 8 月 1 日から 8 月 31 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年 3 月から 5 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑨ 料金算定期間の末日が 9 月 1 日から 9 月 30 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年 4 月から 6 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑩ 料金算定期間の末日が 10 月 1 日から 10 月 31 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年 5 月から 7 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑪ 料金算定期間の末日が 11 月 1 日から 11 月 30 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年 6 月から 8 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑫ 料金算定期間の末日が 12 月 1 日から 12 月 31 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年 7 月から 9 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

2. 料金表（消費税等相当額を含みます）

（1）基本料金（甲）

① 定額基本料金

1 か月につき	324,000.00 円
---------	--------------

② 流量基本料金単価

1 立方メートルにつき	850.08 円
-------------	----------

（2）基本料金（乙）

① 昼間基本料金単価

1 立方メートルにつき	618.24 円
-------------	----------

② 夜間基本料金単価

1 立方メートルにつき	187.68 円
-------------	----------

（3）基準単位料金

1 立方メートルにつき	102.12 円
-------------	----------

（4）調整単位料金

（3）の基準単位料金をもとに、10の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。